

著 書

2022（令和4年）

- 1 馬場重樹, 佐々木雅也. Ⅲ. リハビリテーション診療で知っておくべき栄養の基礎科学 2. 栄養素の役割. リハビリテーション医学・医療における栄養管理テキスト（総編：久保俊一, 吉村芳弘）33-37, (株)医学書院（東京）, 2022
- 2 佐々木雅也. Ⅲ. リハビリテーション診療で知っておくべき栄養の基礎科学 4. 疾患と代謝. リハビリテーション医学・医療における栄養管理テキスト（総編：久保俊一, 吉村芳弘）43-47, (株)医学書院（東京）, 2022
- 3 佐々木雅也. 第1章 食事・栄養療法の基礎知識 経腸栄養剤の種類と選択. レジデントのための食事・栄養療法ガイド 病態に応じた栄養処方組み立て方（編：佐々木雅也）40-46, 日本医事新報社（東京）, 2022
- 4 佐々木雅也. 第2章 病態に応じた食事・栄養療法の実践 クロウン病. レジデントのための食事・栄養療法ガイド 病態に応じた栄養処方組み立て方（編：佐々木雅也）79-84, 日本医事新報社（東京）, 2022
- 5 馬場重樹, 佐々木雅也. 第2章 病態に応じた食事・栄養療法の実践 潰瘍性大腸炎. レジデントのための食事・栄養療法ガイド 病態に応じた栄養処方組み立て方（編：佐々木雅也）85-89, 日本医事新報社（東京）, 2022
- 6 馬場重樹, 佐々木雅也. 第4章 経腸栄養の合併症と対策 ビタミン欠乏症. レジデントのための食事・栄養療法ガイド 病態に応じた栄養処方組み立て方（編：佐々木雅也）213-215, 日本医事新報社（東京）, 2022
- 7 佐々木雅也. 第8章 病態別栄養管理 1. 炎症性腸疾患 ①クローン病／②潰瘍性大腸炎. レジデント・医療スタッフ・学生のための臨床栄養入門（編：雨海照祥 他）84-87, (株)文光堂（東京）, 2022年
- 8 西田 香, 佐々木雅也. 第10章 症例検討 症例1. レジデント・医療スタッフ・学生のための臨床栄養入門（編：雨海照祥 他）174, (株)文光堂（東京）, 2022年
- 9 飯田洋也, 佐々木雅也. IX. がん種別の栄養管理 6. 肝がん. 日本臨床栄養代謝学会JSPEN コンセンサスブック①がん（編：日本臨床栄養代謝学会）274-277, (株)医学書院（東京）, 2022年
- 10 佐々木雅也. Expert Opinion XV-1 がん患者に用いる経腸栄養剤. 日本臨床栄養代謝学会JSPEN コンセンサスブック①がん（編：日本臨床栄養代謝学会）423, (株)医学書院（東京）, 2022年
- 11 佐々木雅也. 第4章 栄養補給法 2. 栄養補給法とその選択 ②経腸栄養. 病態栄養専門管理栄養士のための病態栄養ガイドブック 改訂第7版（編：日本病態栄養学会）114-122, (株)南江堂（東京）, 2022

- 12 西田淳史, 安藤 朗. I章 消化管(上・下) 18. 腸内細菌と消化管疾患. 最新主要文献とガイドラインでみる 消化器内科学レビュー 2022-'23 (監: 竹原徹郎) 101-106, (株)総合医学社(東京), 2022
- 13 西田淳史, 安藤 朗. III. 消化管疾患 C. 腸 2. 抗菌薬関連腸炎 b. Clostridioides (Clostridium) difficile 感染症. 消化器疾患最新の治療 2023-2024 (編: 山本博徳 他) 171-173, (株)南江堂(東京), 2022
- 14 西田淳史, 安藤 朗. 第2章 疾患別のバイオロジー III. 抗体医薬の幅広い応用 9. 潰瘍性大腸炎と抗体医薬. 治療の可能性が広がる抗体医薬 実験医学 増刊 vol.40 No.20 2022 (編: 塚本浩平) 191-195, (株)羊土社(東京), 2022

2023 (令和5年)

- 1 馬場重樹, 佐々木雅也. Part3: IBDにおける成分栄養剤のこれまでとこれから 7. IBDの病態と成分栄養剤の機能 IBDにおける栄養素と成分栄養剤の機能 ~エネルギー, タンパク質, 脂肪の影響~. 成分栄養剤のこれまでとこれから -エビデンスからの期待- (編: 鍋谷圭宏 他) 87-92, (株)先端医学社(東京), 2023
- 2 西田淳史, 安藤 朗. Part3: IBDにおける成分栄養剤のこれまでとこれから 8. IBDにおける腸内細菌叢のかかわりと成分栄養剤の役割. 成分栄養剤のこれまでとこれから -エビデンスからの期待- (編: 鍋谷圭宏 他) 93-99, (株)先端医学社(東京), 2023